

## (別紙)

様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第3回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成29年8月7日(月) 14時00分 開会 16時20分 閉会
開 催 場 所	マナビティセンター大研修室
出 席 者 氏 名	【本部会議委員】 横山委員、山野寺委員、石川委員、信太委員、田村委員、佐々木委員、 村田委員、青砥委員、水島委員、土門委員
欠 席 者 氏 名	
事務局職員職氏名	小室政策主幹、森久保計画担当主査、
議 題	1 美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について 2 基本戦略ごとの数値目標・KPIについて 3 今後について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	・美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告 ・まち・ひと・しごと総合戦略 基本目標・KPI
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>定刻となりましたので、平成29年度第3回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。</p> <p>次第にあります美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について、前回途中で終わりましたが、その続きということで、基本戦略2の移住促進事業からよろしくお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、お疲れ様でございます。前回私がお休みしてしまし、改めて第2期の推進委員会となりました皆さま、新しい委員様、また1期に引き続き委員になっていただいた方、今後ともどうぞよろしくお願いします。なお、本日広島総務部長は他業務のため欠席となっておりますので、ご了承願います。</p> <p>早速議題に入ります。基本戦略2の「移住促進事業」について、事業内容については、移住促進のためのPR、首都圏で開催される移住促進イベントの参加、ちょっと暮らしのための施設整備となっております。28年度の実績がですが、約102万円の決算額で、指標は移住体験者8組と定めていましたが、それに対して実績値は8組ということで、事業効果としては、指標値を達成し効果があったとなっております。評価内容としましては、この事業は最終的に移住促進が目的でありますので、28年11月と今年2月に、移住相談来たご夫婦などが移住したという実績が出ています。また、移住体験をしたご夫婦が、今年の5月に移住したということも、併せて報告させていただきます。実績値を踏まえた今後の方針ですが、移住体験住宅の魅力を高めて更なる交流人口の増加を目指し、一方で仕事とマッチングさせた本気の移住者の獲得を目指すということで、事業の継続を希望しています。以上です。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。前回と同様に、⑨の外部有識者からの評価として、皆さまの評価及びご意見があれば承りたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>移住体験住宅が1棟しかないと聞いていますが、8組全てがその体験住宅に入ったのですか。</p>
小室政策主幹	<p>今現在、移住体験住宅は1棟となっていて、ここに出ている体験者は全てその住宅で体験しています。運用上では、みどりの村のグリーンビレッジ美幌でもちょっと暮らしが出来ることになっていますが、昨年度の体験者はいませんでした。</p>
横山会長	<p>分かる範囲でいいのですが、移住した夫婦が家を買ったとか借りたとか、そこは分かりますか。</p>
小室政策主幹	<p>はい、28年11月に移住したご夫婦は、起業してパン屋を始めた方々ですが、町内の民間アパートを借りています。3月にこれらの方は、町内の介護施設に就職し、民間のアパートを借りたのとのこと。</p>
横山会長	<p>他にご意見ございませんか。では、⑨の評価につきましては、事業効果があったということでよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>はい、では次の事業をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>「政府関係機関の誘致」ということで、首都圏に集中している政府関係</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>機関を地方へ移転させるにあたり、美幌への誘致をするというのですが、予算は伴っていません。指標ですが、なんとか政府関係機関の誘致を1つ、平成32年まで行いたいと考えていますが、実績はありませんでした。評価ですが、指標値を下回ったものの事業効果があった、見込めると読んでいただきたいと思います。その理由として、美幌駐屯地の維持・増強については陳情を続けているところです。また、政府関係機関の誘致というのは全国的に動きが鈍い状況で、相当ハードルは高いですが、当町としては、まず美幌駐屯地の維持はもちろんのことで、その他にもなんとか誘致をということで考えていきたいと思っています。⑩の今後の方針ですが、自衛隊関係機関を中心に、今後も陳情を続けていくこととしています。</p>
横山会長	<p>これについて意見はございますか。 官公庁ということですが、北海道だとかの施設は入っているのですか。</p>
小室政策主幹	<p>事業内容にあるように、東京に集中している官公庁ですので、基本は国です。省庁だけでなく、それに関係した研究機関も対象です。美幌町にマッチするような研究機関の誘致を考えているのですが、上手くいっていないのが現状です。</p>
横山会長	<p>他にございますか。では、評価としては、指標値は下回ったものの効果が見込めるということでよろしいでしょうか。 (異議なし) はい、では次の基本戦略3をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>「妊婦一般健康診査費等補助事業」で、妊産婦の心身の件この保持及び経済的負担軽減を目的に、妊娠に係る健康診査及び出産のため町外の医療機関に通院する交通費を助成するものです。決算額は約132万円で、指標については補助人数115人としていまして、実績としては110人となっています。効果としては、指標値を下回ったものの効果はあったとしています。その理由としては、経済的負担を軽減し、子育て支援が図られたためとしています。また、指標値を下回った理由としましては、出生数が当初予定していたものより減少したためとしています。今後の方針として、今後も引き続き補助対象者に制度の周知をすることで、申請漏れのないう事業を進めていくということで、事業の継続としています。</p>
横山会長	<p>何かご意見はございますか。</p>
水島副会長	<p>交通費1回につき1080円とありますが、これは町外に里帰り出産とかしていた場合はどうなるのですか。美幌町に住んでいて、例えば実家が大空町とかで、そこから北見や網走の病院に通った場合でも対象となるのでしょうか。また、町外に在住していて、美幌町に里帰りしている人はどうなるのでしょうか。</p>
森久保計画担当主査	<p>申し訳ありません、担当部署に確認します。おそらくですが、美幌町に在住している人が対象になるはずですので、住民票があることも必要となるとと思いますが、確認します。</p>
水島副会長	<p>例えば、妊娠のリスクなどの事情があって、札幌や旭川でないと産めないといった場合はどうなるのですか。そういった人は住民票はここにあり</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島副会長	ますが、事情により北見や網走ではなく、他のところに行く場合は。
森久保計画担当主査	確認します。
横山会長	他にございますか。 指標を達成しなかった部分については、出生数に関わってくるので、非常に難しいものでありまして、その中で110人もの人がこの事業により助かっておりますので、⑨の評価につきましても、指標値は達成しなかったものの効果はあった、見込めるということによろしいですか。
小室政策主幹	水島副会長、今のご質問でを担当部署に確認して、対象外ということになりましたら、それも対象にして欲しいということ意見をいれることによろしいでしょうか。
水島副会長	そうですね、美幌町に住民票があって、近隣の病院で産みたいと思っても産めない状況というのがあると思うので、行かなければならないという事情であれば、対象にしてもいいのではないかと考えています。
村田委員	そのような特殊な事情の場合、医療費がかかってくると思うので、全体として特殊な医療費がかかる場合は交通費だけでなく医療費も含めて補助してはどうかと思う。
横山会長	ご意見ありがとうございます。そのような形で意見を入れてもらいたいと思います。では、次の5の事業をお願いします。
小室政策主幹	はい、「産後1ヶ月健康診査補助事業」で、産後1ヶ月健診のための費用と交通費を助成するものです。28年度は52万円で、指標値は107名に対して指標値は104名となっています。評価といたしましては、指標値を下回ったものの事業効果は見込めるしています。下回った理由は、先の事業と同じで、出生数が下回ったからとなっています。ただ、経済的負担を軽減し、子育て支援になったということで、事業効果はあったとしています。今後の方針として、引き続き申請漏れのないように事業を進めていくとしています。以上です。
横山会長	はい、水島副会長、先ほどの事業と絡めると、産前に札幌の病院にかかった場合、産後も引き続きその病院にいて検診を受けなければならないものなのではないでしょうか。
水島副会長	そうですね、リスクによりお子様が産まれてそのまま入院しなければならないケースがありますので、そうなるに戻って来られないので、そうなった場合には、先ほど村田委員がおっしゃったように、少し出産後も医療費や交通費の補助などがあればいいなと思います。
横山会長	4番と5番の事業は関連性がありますね。水島副会長と村田委員からありました意見を、ここにも入れていただいて、担当部署に伝えていただければと思います。
小室政策主幹	特殊なケースの場合は、幅広い支援を考えてはどうかというご意見で、伝えさせていただきます。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
信太委員	4番5番の周知方法はどのようにされているのですか。
小室政策主幹	母子手帳に渡す際に色々な情報や資料をお渡ししているのですが、その際にこの事業もお知らせしています。5の事業は28年度から始まった事業ですが、同じ方法かとは思いますが、周知方法を確認しておきます。もし分かりにくければ、もっと周知を工夫するようにとの意見を入れておきます。
横山会長	4の事業と関連して、美幌に産婦人科がなくなり、救急と連携したものがあつたと思うのですが、あれは今でも生きていますか。
森久保計画担当主査	はい、エントリーネットですね、今でもあります。これは何かあつたときのために予め通っている病院などを登録しておいて、旦那さんや親族に頼れない時に何か起きたときは、この救急を使って病院に速やかに運ばれるものです。
横山会長	はい、では今あつたような意見を加えていただいて、評価としては指標値を下回ったものの事業効果はあつたということにさせていただきたいと思ひます。それでは、6番をお願いします。
小室政策主幹	「医師確保対策事業」として、常勤医師の招聘を図り医療の充実を目指すものです。指標については、小児科医・産婦人科医2名に対して、1名の実績となっています。効果としては、指標値は下回ったものの効果はあつたとしています。理由ですが、産婦人科医は全国的に不足してしまひて、招聘は困難であるということですが、引き続き取組を行つていくこととしています。今後の方針としては、事業の継続としています。
横山会長	はい、これについて意見はございますか。
村田委員	指標値に29年度にまた2名とありますが、追加するののかということと、今回外科の先生が来ましたが、それとの関係はどうなのか。
小室政策主幹	29年度目標値ですが、追加ではなく、小児科医・産婦人科医を維持していくということです。それと、この基本戦略3というのは、「このまちで結婚し子どもを生み育てたいという希望をかなえる」といったものでして、ここでは小児科医・産婦人科医を記載していますが、町民の医療の充実として、もちろん新たに来ました外科の先生はまさにその充実に資するものとなっています。ただ、基本戦略3は子育て分野ということで、記載を変えさせていただきました。
村田委員	そうなると、他の医療体制大丈夫かという懸念が出てしまうのではないのか。基本戦略3は子育て分野というのであれば、他のところで医師の充実を図るという項目を入れるべきではないのか。
森久保計画担当主査	当初は全医師の数を掲載して、途中で子育てということで特化した経緯がありますので、記載方法についてはまた検討させていただきます。
村田委員	戦略として必要ないのかなと思ひてしまひますので、人口減少対策としてはそれに特化したということは理解できますが、他から見たときに、医師が見えてこないのか、あそこの医療体制は大丈夫かなと思ひれないかな

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田委員	と考えた場合、これだけ特化する必要は無いと思います。
森久保計画担当主査	分かりました。記載の仕方を見直します。
横山会長	聞いた話ですが、産婦人科医が決まったと耳に入りましたが、どのような状況か分かりますか。
小室政策主幹	視察に来たという話は聞きましたが、決まったとまでは聞いていません。様々な医師を招聘していますが、産婦人科については、場所として手狭、機材の関係もあり、確実に決まったとまでは聞いていません。また、産婦人科医は1人では開院できないと聞いています。婦人科ならまだしも、産となると3人ぐらいの体制にならないと難しいそうです。
横山会長	評価ですが、今後の見込みもありそうなので、指標値は下回りましたが効果はあったということによろしいでしょうか。 (異議なし) では、7番の事業をお願いします。
小室政策主幹	はい、「エンゼルサポート120事業」ですが、乳幼児を扶養している世帯にゴミ袋を支給するもので、経済的負担を軽減し子育てを支援するものとなっています。実績額は5万1千円ほど。指標ですが、支給者数を137人に設定しましたが、実績値は131人となっています。評価としましては、指標値を下回ったものの事業効果はあった、見込めるというものです。理由としましては、経済的負担を軽減し子育て支援が図られたということで、指標値を下回ったのは、出生数が減少したためとしています。⑩の今後の方針としては今後も引き続き対象者に周知して、申請漏れのないように事業を進めていくとしています。以上です。
横山会長	はい、ご意見ある方いますか。
村田委員	29年度の予算額が28年度の実績額の2倍以上となっていますが、何故ですか。
森久保計画担当主査	子どもの月齢によって配付される数が異なりますし、数を最大限とった予算額だと思います。実際に申請して配付となったらこの数値だったということだと思います。
村田委員	28年度の当初予算は同じくらいだったということで、間違いではないのですね。
小室政策主幹	多めにとって不足のないようにということだと思います。 (※確認したら28年度の当初予算は121千円で29年度とほぼ同額)
信太委員	何歳くらいまでもらえるのですか。
小室政策主幹	0歳から2歳未満です。申請制ですので、申請漏れのないように呼びかけていくということです。
横山会長	今後の方針の記載内容ですが、「申請漏れのないように」とありますが、

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	現実的に申請漏れがあったから、このような記載内容になったと考えてしまうのですが、指標値が下がったのは出生数が下がったというので十分理解できるのですが、申請漏れのないようにとあると、本当に出生数が下がったから下回ったのか、実は申請漏れがあったのではないかと読めてしまいます。
森久保計画担当主査	もともとの指標は、補助対象者への助成が100%としていたものですので、申請漏れがないのは間違いありません。
小室政策主幹	今までもなかったが、今後もないようにするという意味だと思いますので、読み違いのないように改めます。
横山会長	後他に何かありますかよろしいですか。では、これも指標値を下回ったものの事業効果が見込めるということで、次の事業をお願いします。
森久保計画担当主査	はい、「子育て支援対策事業」ということで、0歳児から2歳児までの民間保育所利用者に対し、その差額分を補助する事業というものです。さらに、28年度から多子軽減も実施し、支援の拡大を行っていきまして、そのため実績額が27年度比べて倍近く多くなっています。約1384万円です。指標値は保育料利用負担軽減者数50名としていきまして、実績値は48名です。事業効果としましては、指標値を下回ったものの事業効果はあったとしています。金銭的支援であるため、低年齢児及び多子世帯に対して負担軽減となったことから、子育て支援が図られたため、効果があったとしています。今後の方針として、事業の継続として、町内全ての保育所において多子軽減を実施しているが、今後も継続して実施するとしています。以上です。
横山会長	何かご意見ございますか。よろしいですか。保育料の負担軽減と、多子軽減が追加されて事業費が大幅に増となったということで、これは大きな効果があったと思われまますので、数字的には指標値を下回っていますが、事業効果はあったとさせていただきたいと思えます。では、9番をお願いします。
小室政策主幹	「地域子育て支援センター事業」ということで、乳幼児の保育に関する相談、必要な情報の提供、助言を行うとともに、子育てサークルへの支援等を行うものです。28年度の実績額は約435万円で。指標は利用者人数8千人に対し、7844名という実績になっています。評価としましては、指標値を下回ったものの効果はあった、見込めるとなっています。理由としてしましては、少子化で利用者数は減っているものの、センターの各種行事や育児相談、利用者が必要な情報の提供及び助言を行うことで、地域の子育て支援センターとしての役割は果たせたものとなっています。今後の方針ですが、子育て支援には必要な施設であり、リピーターが増えるような魅力ある行事等を考えて実施していくということで、事業の継続となっています。以上です。
横山会長	ご質問ございますか。よろしいですか。では、⑤と同じ評価とさせていただきます。では10番をお願いします。
小室政策主幹	はい、「一時預かり事業」で、保護者や家族の病気など家庭での保育が難

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>しい場合、満1歳以上の子どもを一時的に預かる事業となっています。実績額としましては、約326万円で、指標値は一時預かり利用日数350日としていまして、実績値が439日となっています。これは例えば1日に10人預かりがあれば、10日といった延べ日数になります。事業効果は指標値を達成し効果はあったとしています。評価理由ですが、保護者の就労形態の多様化や疾病などによる一時保育を実施したことにより、児童の福祉の向上が図られたとのことでございます。今後の方針としましては、子育て支援に必要な事業であり、緊急的なセーフティネットとしての役割を担う必要があるとのことで、今後も継続していくとしています。</p>
横山会長	<p>何かご意見はございますか。 この預かり場所はどこですか。</p>
森久保計画担当主査	<p>美幌と東陽の保育園です。民間の保育園はこの実績に入っていません。</p>
横山会長	<p>はい、よろしいでしょうか。では、効果があったとさせていただきます。11番をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>「放課後児童健全育成事業」ということで、保護者が就労・留守などにより保育が出来ない小学生の児童に対し、適正な遊び場と生活の場を与え、健全育成と福祉増進を図るものです。実績額は約3141万円で、指標は学童保育所利用者数140名に対して、実績値は153名となっていて、評価としましては、指標値を達成し効果があったとしています。理由としましては、保育が出来ない児童の健全育成と福祉増進が図られたとのことでございます。今後の方針ですが、小1の壁を作らないことが大事であるとのことで、事業の継続としています。以上です。</p>
横山会長	<p>はい、これについて意見はございますか。</p>
水島副会長	<p>今この学童保育は小学3年生までですが、学校のアンケートで小学6年生のことがあったのですが、今のところは3年生までなのでしょうか。</p>
森久保計画担当主査	<p>教室の関係で、今は3年生までしか出来ないと聞いています。教室が足りないそうです。</p>
小室政策主幹	<p>4年生から6年生までの需要はあるのでしょうか。</p>
水島副会長	<p>アンケートをもらった時に、4年生くらいになると、家で1人で留守番できるし、友達と遊びに行くことが多くなるので、私は必要ないかなと思ったのですが、家庭によってはあった方がいいのかなとも思いました。</p>
小室政策主幹	<p>条例上は出来ることになっていますので、今は教室の関係で対応できていないので、この委員会の意見として、6年生まで対応して欲しいと記載して伝えていきますか。</p>
水島副会長	<p>アンケートなどで、そうした需要があるのであれば6年生までの受入を検討して欲しいと思います。教育委員会で実施された保護者向けアンケートだったと思います。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	そのアンケートを集計した結果、必要ないという意見が大多数であれば、それは今のままでいいですし、6年生までの受入をすべきだということが多ければ、それに対応して欲しいということで、そのように意見を記載願います。
小室政策主幹	了解しました。
横山会長	他よろしいですか。それでは、指標は達成していますので、事業効果はあったということで、ただ先ほどの意見を付すことでお願いします。次のページ、12番をお願いします。
小室政策主幹	はい、12番の事業ですが、事業名称を変更しています。従来は「子育て世帯・若年者支援対策事業」でしたが、「子育て世帯応援事業」という名称に変えています。内容としましては、スマッピーカードのプレミアムチャージ事業のことで、従前では18歳以下の子どもを養育している世帯と30歳未満の若者に対してプレミアム率をかなり高くして、55%として行っていたのですが、これを若者への支援を止めて、高校生以下の子どもを養育している世帯に対してプレミアム率50%の商品券を発行するというので、対象範囲を狭めて子育ての方に重点を置いた形となっています。28年度の実績額は、228万4千円。指標値は商品券利用率95%に対して、実績値は99.9%となっています。評価としては、指標値を達成し効果があったとしています。理由としましては、町内商店の利用を促すため、プレミアム商品券を発行し、99.9%の利用率から見ても十分な消費喚起及び子育て世帯等への支援が図られたとしています。今後の方針としましては、商店街の活性化により商工業者の所得向上が図られたとしていて、⑥には記載してここに記載されていませんが、子育て世帯への支援にもなっているということで、事業の継続としています。以上です。
横山会長	はい、これについて意見はございますか。
村田委員	対象者が高校生以下の子どもを養育する世帯ということですが、その世帯数に対して何%行き渡っているのか把握していますか。
小室政策主幹	600人分の予算でありまして、1世帯の旦那さんと奥さんで1人ずつ入れることも可能となっています。
村田委員	それでは、子育て世帯の中で、1万円分の商品券がもらえるところと、例えば片親世帯であったら、そちらの方が経済的に苦しいと思うのに、5千円分しかもらえないのは、少しおかしいのではないかと。もちろん、1万円分チャージした上で商品券がもらえるので、そこをチャージしてまでなら入らない世帯もあるとは思いますが、対象となる世帯にきちんと行き渡っているのか。
森久保計画担当主査	土門委員はこれをご存じでしたか。
土門委員	行ったことがないです。そんな時間がないですし。後から話聞いて、凄く並んだと聞きましたし、それに忙しい時間帯に並んでまで、とはならないです。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>これは子育て支援でもありますが、商店街活性化のためでもありますので、スマッピーカードを持っている人に限られるのですよね。そのため、スマッピーカードを持っている人が対象となることにご理解をいただいた上で、商工会議所が中心となって商品券を発行しているシステムですので、消費の喚起も目的としています。この事業は、基本戦略1の商工業の振興にも掲載されていますので、商店街活性化のツールであって、子育て支援のツールでもあるという、2つの要素が含まれています。子育て世帯1世帯へと変わった場合、あなたの世帯は対象となっていますので、申請してくださいというシステムにしていく必要があります。若者対象の時にありましたが、スマッピーカードに1万円入れて1万5千円分買い物できるけれども、美幌に買いたいもの・使いたいお店がないから入れない、という人もいれば、先ほどのように時間がないから入れられない、という人もいますので、正直そこは難しいかなと思います。</p>
村田委員	<p>せっかく行ったのに締め切られていて受けられなかったということのないようにしてほしいと思っている。</p>
横山会長	<p>今の制度のままだと、確かにそうした人は出てしまうので、難しい。世帯数でいけば、子どもの数からある程度割り出せますので、それを全て対象するとなりますと、以前行った方法ですが、その全対象世帯に申請書を送って、申請してもらわなければならない。ただ、そうなりますと予算的な部分で対応できるのか懸念がある。</p>
森久保計画担当主査	<p>2年前に行ったのは、地方創生の予算100%で可能となったことですので、ものすごい潤沢な予算がありました。今の10倍くらい、3千万円ほどの予算でした。何回もプレミアム商品券の発行を行っていたので、もし全世帯を対象としたものにするのであれば、プレミアム率をぐっと下げるかしないと、対応が出来ない。</p>
水島副会長	<p>どこまでが養育しているとなるのでしょうか。例えば、18歳以下の孫がいる祖父母がチャージいくことは可能なのですか。</p>
横山会長	<p>いえ、基本的には自分の子どもが18歳未満である方を対象にしています。ただ、本人が行けない場合の代理は可能としています。</p>
小室政策主幹	<p>お仕事の関係などで親本人が来られない場合、その祖父母が親と子どもの関係を証明する書類を持ってくれば、親のカードにチャージすることは可能です。その確認はきちんとします。</p>
横山会長	<p>先ほど村田委員が言われたような、ここで終わりといったことは現実的ではありませんので、そこをどうするかというのは課題ですね。</p>
佐々木委員	<p>このプレミアム率55%とか50%はとても高いと思うのですが、これを継続していけるのですか。</p>
小室政策主幹	<p>財政的なものがありますので、この場で続けていきますとは言えないのですが、商工会議所から年度ごとに要望書が届きますので、その時の要望に町が応えているという形です。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	私の前勤務地では、3割のプレミアムをやるやらないで検討していたところでしたので、美幌は50%と知って驚いているのですが、全道の中でも高い方ですよ。
小室政策主幹	そうですね。ただ、一般向けのプレミアム商品券事業もありまして、それは30%です。この30%であったところに、当時の町長が、今までこうした支援策には、年配の方に重点を置いていて、若者の視点が足りなかったという反省点がありまして、若者の視点にそった支援策を作りたいというものがあつたので、思い切って50%にしました。子どもの年齢をどうするかとかは商工会議所と協議して、子どもに町を知ってもらおう、町で買い物してもらおうということで始めた事業です。最初は周知不足で、売り切れるのに1ヶ月くらいかかったり、利用率が悪かったりしたのですが、徐々に定着してきまして、今ではもうすぐに売り切れるようになりました。
佐々木委員	子育て対策とは少し異なると思うのですが、消費拡大策ということですが、商店でうちに来ないんだよねとか、商品券が商店街で使われていないとか、そういった声はありますか。前勤務地では、スーパーにばかり使われるということがあつたものですから。
横山会長	スマッピーカードにチャージしたら商品券がもらえるシステムでして、スマッピーカードに加盟している店舗でしか使えません。そのため、町内にある大型スーパー3店舗は対象外となりますので、そこに使われることはありません。そうしたことから、商店の方からはそうした声はありませんが、消費者からはもっと対象店を増やして欲しい、大型店でも使えるようにして欲しいといった声は確かにあります。
水島副会長	制服を買うときには、やはり地元で買います。その時期に合わせてこの商品券発行事業を行っていただけると、これに使おうと思うので、チャージできる時期を2月3月にやって欲しいと思います。
横山会長	先月第1弾が終わったところだったのですが、次回の実施を2月に予定しています。年2回にしました。
小室政策主幹	以前は1回だったのですが、その時のメリットは来た方ほとんどがチャージできました。これが予算が同じで2回に分けたら、チャージできない人が出てしまいました。でも、2月3月というのは、何かと物入りの時ですので、商工会議所やスマッピーカード協同組合から、2月の消費が低迷するとき、且つ消費者にとって必要なものが出てくる時期にやりたいということで、2回に分けました。
横山会長	はい、では評価としては指標値を達成し効果があつたとさせていただきたいと思います。そして今後の方針に、子育ての観点も入れていただきたいと思います。では、次の事業をお願いします。
小室政策主幹	はい、「子育て世帯禁煙サポート補助事業」ということで、禁煙治療に対して費用の一部を補助しますというものです。平成28年度実績額は約5万3千円。指標は補助対象数を20人と設定してしまっていて、実績は7人となっています。評価としては、指標値を下回ったものの効果はあつた、見

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>込めるとしてしています。その理由としましては、禁煙を促すことにより家族の受動喫煙を防ぐことができたことと、禁煙への動機付けと啓発が図られたということです。指標値を下回った理由としましては、禁煙に対する意識がまだまだ低いとのことで、その動機付け難しいとのことです。依存症が多くいらっしゃるということで、長期的な取組が必要とのことでした。⑩の今後の方針として、今後の取組を色々と書いてありますが、事業の継続を考えています。以上です。</p>
横山会長	<p>はい、ご意見ございますか。 個人的な感想になってしまうのですが、禁煙する親に対して補助をする事業ですが、禁煙は補助などもらわずに自分でしてはどうかと思いますので、この予算を禁煙を促すためのPRとして活用するのはいいと思います。個人の治療に対して補助をするのはいただけないかと、率直に思います。</p>
小室政策主幹	<p>おそらくですが、依存症っぽくなっている人に対して、ご家族から止めなさいと言われてもなかなか止められない人にとって、この補助でもって禁煙外来に行く促進になるのではないかと思います。本人もそうでしょうが、子どもの健康を守る意味合いですので、それで補助を出すのだろうと思います。</p>
横山会長	<p>その意味合いはそうだろうと思いますが、禁煙を促すのに個人に対して補助を出すのはどうなのかなと疑問です。私自身もかつて喫煙者で、40代の時にぴたっと止めた。そこから吸いたいと思わないので、本人の意志だと思います。意志の弱い人に補助をあげるのはナンセンスかなと感じています。</p>
村田委員	<p>この実績値の7人は、きちんと禁煙に成功したのですかね。</p>
小室政策主幹	<p>たしかに、自分の友人にも禁煙外来に行ったけど、結局元の戻った人がいますからね。</p>
佐々木委員	<p>辛いのは1～2ヶ月くらいですかね。私も医者に言われて行いました。いわゆるニコチン中毒みたいなものですから、それを過ぎるとスーッと上手くいくのではないですかね。</p>
森久保計画担当主査	<p>今のご意見を有識者からの意見とするのかどうかですね。個人に対して補助を出すのはいかがなものかといった。</p>
佐々木委員	<p>少し、補助の本質からは外れている気がしますけどね。やはり止めるのは意志の力なんだと思います。補助金出したら止められるものではないと思います。一時的に止めても、職場行ったら吸っちゃう人もたくさんいますし。そういったことを考えますと、補助金出してまで実施する事業かなと疑問です。</p>
小室政策主幹	<p>分かりました。意見としましては、煙草の害から子どもの健康を守ることについては賛同するが、補助金出してまでこの事業を実施することは疑問を感じるという内容でよろしいでしょうか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島副会長	この対象は、祖父母は対象になるのですか。
森久保計画担当主査	同一世帯に同居しているなら祖父母も対象になります。子育て世帯へのサポート事業ですので、独身の方は対象外です。27年度から始まった事業で、この3人の方は、これを使って禁煙に成功しましたということで、広報にも掲載されてPRは色々行っていました。
小室政策主幹	会長としては、子どももいるのだから禁煙しなさいといった促進PRに予算を使うのはいいけど、本人への補助は違うのではないかといいことですね。
横山会長	そうです。
村田委員	では、この事業を活用した人には、広報で記事を書いてもらうとか、成功の過程とか、禁煙したらこんないいことがあったとか、そうした体験談を広めるようなことをしてもらいなど、補助を受ける以上はそういった義務を担ってもらうのはどうだろうか。そうすれば、また喫煙に戻るリスクも減るのでは。
小室政策主幹	了解しました。
横山会長	では、今の内容をまとめて、意見として付け加えていただきたいと思います。次の事業をお願いします。
小室政策主幹	はい、「乳幼児医療費助成制度」ですが、乳幼児への医療費を補助することで、子育て世帯への支援を行うものです。28年度の実績額は約2千4百万円となっていて、指標は乳幼児医療費受給者数、これは医療証の受給者数のことですが、869人の目標に対して、882人の実績となっています。評価としましては、指標値を達成し効果があったとしています。その理由としましては、病気や怪我により受診者が増えたためとなっていて、子どもの数が増えたわけではないということです。今後の方針ですが、乳幼児の保健福祉向上及び子育て世帯の経済的支援を長期的に要望する住民のニーズがあるということで、事業を継続したいとなっています。以上です。
横山会長	これについて何かありますか。
水島副会長	町外で受診した場合はどうなりますか。
小室政策主幹	金額的には町外で受診した場合でも支援が行われます。町内の場合は病院側から乳幼児の関係報告書が来て、それを審査して病院側にお支払いする。町外の病院にかかったときには、領収書をもって本人というか保護者が役場に来て申請して、その保護者の口座に補助分を入れる形になります。
横山会長	一切お金はかからないのか。
水島副会長	3歳までは無料だったはずですが、3歳以上は大人と同じ3割負担となるところですが、そこを町と北海道で少しずつ補助してくれているはずですが。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>詳しい割合負担は分かりませんが、子どもに対しては一定の支援はされています。</p>
横山会長	<p>他にご意見よろしいですか。子どもの数が増えたわけではなく、病気や怪我が増えたことで達成となったことがいいのか悪いのかありますが。</p>
小室政策主幹	<p>ただ、その分の経済的負担の軽減にはなっています。</p>
横山会長	<p>そうですね、そういったことで事業効果があったとさせていただきます。続いて、基本戦略4の1からお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「空き店舗活用事業」ということで、空き店舗を活用して新規企業やチャレンジショップの支援を行うということで、月額家賃の2分の1を、町と商工会議所が補助するものです。25%が町、25%が商工会議所の負担です。28年度の実績額はゼロ円で、指標値は空き店舗活用件数2件としていましたが、実績はゼロとなっています。効果としては、指標値を下回ったものの効果があった、見込めるとしています。その理由としましては、実績は無かったものの、当該制度を維持することで空き店舗の活用が推進されるためとしています。実際に、28年度は相談件数が1件あり、29年度に実施予定となっております。このような結果になった経緯についてですが、27年度に新規起業家支援事業というものができまして、これには家賃補助も入っていることから、この空き店舗活用事業の活用が減っているということがございます。しかしながら、新規起業家の方は少し条件が付いていますので、そこに添えない場合は戸の空き店舗活用事業で救える部分がありますので、空き店舗の活用推進には期待されています。今後の方針について、空き店舗の解消を促進することにより商店街の活性化が図られることが想定されるため、事業の継続としています。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等ございますか。</p>
村田委員	<p>駒場楽器店の跡地にオープンしたお店がこれを活用したのか。</p>
横山会長	<p>そうです。それと、駅前にある太郎庵の跡地に飲食店が移転したので、そこも対象となっているのと、飲食店街にも1件開店しまして、それも対象となっています。29年度は現時点の段階で3件が空き店舗活用事業を使わせていただいています。</p> <p>それでは、28年度の実績はゼロではありますが、29年度は既に3件活用されていることでもありますので、事業の継続を含めて、今後も効果が見込めるということで評価させていただきたいと思います。では、2番目の事業をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「消費喚起プレミアム商品券発行事業」になります。これは先ほど子育て支援の関係で出てきた事業と同じでして、スマッピーカードにチャージすることで3割分の商品券が発行されるという内容になっています。実績額については、約614万円。指標値は商品券利用率95%に対して、99.9%の実績となっています。評価といたしましては、指標値を達成し効果があったとなっています。その理由ですが、99.9%の利用率からも十分な消費喚起が図られ、商店街の活性化に寄与されたということです。今後の方針ですが、商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	られる、いわゆる商工業の発展につながるため、今後も事業の継続としていますが、これにつきましても先ほど同様、予算の関係がありますので、いつもで続くか分からないですが、推進していきたいとなっています。
横山会長	<p>これも先ほどの子育ての部分と同じようなご意見であろうかなと思いますし、こちらも同様に2月に実施する予定でございます。それでは、先ほどと同じでありますので、指標値を達成し事業効果があったということによろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>では、3番をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「住宅リフォーム促進事業」で、これは住宅の改修に関する費用の一部を助成するもので、50万円以上の改修工事に対して、20%以内、上限50万円までの支援をするものです。28年度の実績額は約5183万円で、指標値は158件に対し実績値は155件となっています。評価としましては、指標値を下回ったものの事業効果はあった又は見込めるとしてあります。理由としましては、この事業は平成23年から実施しておりますが、28年度までに約21億3千万円の工事契約高を積み上げて降りますので、地域経済の活性化に寄与しており、さらに住環境の整備に効果があったからとしてあります。今後の方針でございますが、居住環境の整備が促進されるため、事業の継続を考えているというところでございます。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。では、外部評価としましては、数字的には少し下回っていますが、効果があったということ、今後見込めるということで評価させていただきたいと思っております。では4番目をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、地域住民の足となっている事業でございます。路線バス、ワンコインバス及び町の混乗スクールバス等の維持確保や利便性向上に努める内容となっております。実績額は約2045万円で、指標値39000人の利用者に対して、30967人の実績となっております。効果としましては、指標値を下回ったものの事業効果はあった又は見込めるとなっております。その理由としては⑥に記載のとおりです。今後の方針として、利用実態の検証と住民ニーズを把握しながら、利便性の向上と利用促進を図り、公共交通の維持確保を推進したいということで、事業の継続としてあります。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等ございますか。</p> <p>校長先生、美幌高校線を利用する生徒が減少しているという記載がありますが、何かございますか。</p>
田村委員	<p>交通手段が多様化してるのだろうと感じる。高校生の数も少なくなってきたので、それも影響していると思います。東藻琴とか小清水方面からの連絡バスがないのです。小清水高校が今回閉校になりますが、その生徒たちはどこに行くのかというと、網走に行くそうです。昔と違って生徒は家から通いたい。交通手段が一番ネックになってきます。</p>
小室政策主幹	<p>親御さんが送りに来ている光景が見られますが、やはり高校生までは送</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	迎されているお子さんは多いのですが。
田村委員	結構いると思いますね。夏は自転車ですが。
横山会長	この美幌高校線はワンコインバスが走っているのですよね。小清水とか東藻琴にはそういったバスがないとのことですので、混乗スクールバス等でそうした配慮が出来ないか、今後の課題として検討していただくように、外部有識者からの意見として出ささせていただきたいと思います。
小室政策主幹	町外となりますと、バス会社、運輸局などの関係があると思います。混乗バスを東藻琴や小清水に走らせることができるのかできないのか不明ですが、今のご意見については、厳しいかもしれませんが、「住み続けたいと思える生活環境を整える」という基本戦略からいけば、外部から高校生が来やすい環境を整えて、そのまま住み続けてもらうということで、ご意見を伝えていきたいと思います。
横山会長	そうですね、就職のことも考えますと、やはり必要かなと。
小室政策主幹	小清水高校は今年度で終わりということなので、そうした社会情勢を受けてということを一言添えてということですね。
田村委員	小清水の父兄は、東藻琴までなら車が出せるから、せめてそこからの連絡バスがないかという話がありましたので、東藻琴を基点として何か出来ないかと思っていました。
横山会長	ありがとうございます。他に何かございますか。では、ここについては、先ほどのご意見を付して、今後効果が見込めることを期待して、指標値は下回ったものの事業効果はあった、見込めるとさせていただきたいと思います。では5番お願いします。
小室政策主幹	はい、「美幌町まちづくり活動奨励事業」について、住民自らの活動に対し支援するもので、その活動継続と発展を図るというもので、いわゆる自治基本条例に基づく住民自らの行動が反映された事業となっております。実績額は約43万円となっており、指標値3件の活動に対して1件の実績となっております。効果についてですが、すいません、記載間違いで、正しくは指標値は下回ったものの事業効果はあった又は見込めるです。評価の理由としましては、町民団体が主体の活動に対して補助する提案事業型の補助金であります。昨年度はマチコンを実施して出会いの場の提供が出来たことから、効果があったとしています。ハード事業は申請がなく、ソフト事業1件のみとなっております。今後の方針についてですが、町民による自発的なまちづくり活動はこれからも重要であり、この活動に対する町の補助が必要ということで、今後も事業の継続を考えているということです。以上です。
横山会長	何かご意見はございますか。
村田委員	⑦で補助金額47万円とあるが、実績額と異なっているので、どちらが正しいのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	確認します。
村田委員	今回、美幌の歌や演劇などで若い人が一生懸命やっているもので、そういったものに対してこの事業からいくらか出してあげるとか出来ないのかなと考えています。
小室政策主幹	美幌の歌については、実はこの事業に申請がありました。ところが、この事業には審査会がありまして、その中でこの事業に馴染まないのではないかと判断がされたという経緯は聞いています。劇団の方は申請があったという話は把握していないのですが、観劇の際、お金を取りますのでどうでしょうかね。例えば、内容的に地域のためになるものであれば、審査会のハードルを下げてはどうかといった内容を付すことはできますが、どうしますか。
村田委員	全額でなくても、一部とか応援してあげるとか。若者は、これだけでなくて、これからの美幌のあらゆる面で関わってくる人たちだからそういう面で少し助けてあげられればいいかなと思います。
小室政策主幹	はい、しっかりと意見に入れさせていただきます。
横山会長	それでは、実績については残念ながら1件だったのですが、それが効果があったということで、今後も何か活動があるかと思っておりますので、指標値を下回ったものの事業効果はあった、見込めるという評価にさせていただきたいと思っております。では6番お願いします。
小室政策主幹	はい、「美幌町まちづくり参画プロジェクト」ですが、地域の学生を活用し、学生ならではのアイデアによる活動に支援するもので、将来的には地元に残るあるいは帰ってくる学生を育成することを狙いとした事業となっています。平成28年度から始まった事業でございまして、実績額は約64万円、指標値はプロジェクト件数1件に対して、実績も1件となっています。評価としましては、指標値を達成し効果があったとしていまして、理由としましては、美幌高校の地域資源マテリアル班を美幌伝道大使に任命させていただき、学生が主体となった取組をテキスト化し、子どもたちに対し食育を行い、地域の魅力を発信するなど、これにより園児や小学生が美幌って凄いいいところだなと感じてもらい、最終的に美幌に残る又は帰ってくることに繋がっていききたいことでの評価となっています。今後の方針ですが、学生を主体とした活動を継続するとともに、新たな掘り起こしにより学生の更なるまちづくり活動を支援するというところで、事業の継続を考えています。以上です。
横山会長	何かご意見等ございますか。 事業の継続ということで、実際29年度の今も、美幌伝道大使としての任命をさせていただいておりますし、この伝道大使が園児や小学生に対し食育授業を進めるという内容となつてございますので、ここにあるように、指標値を達成し事業効果があったということにさせていただきたいと思っております。では、7番をお願いします。
小室政策主幹	これは総務省が進めている地域おこし協力隊の事業です。一定期間地域に居住して地域の課題等で協力活動をしてもらって、美幌町への定住・定

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>着を図るものでございます。平成28年度から取り組んだ事業でございますが、実績額が約151万円です。指標が2つありまして、1つが地域協力活動案件数が2件、もう1つが協力隊員数が2人としています。実績ですが、取組案件数は2件あったのですが、協力隊員は導入には至らなかったため、指標値を達成できず事業効果はなかったという評価になっています。その理由ですが、平成29年度の採用を目指して2つの地域協力活動の構築を図って、首都圏等から応募者の面接を行い、2名の内定者を出したのですが、残念ながら辞退するという申し出がありまして、採用には至らなかったということでございます。今後の方針ですが、新たな地域協力活動の掘り起こしを行って、地域の活性化及び人材育成を図る、更には定着につなげていくということで、事業の継続を希望しています。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見ございますか。</p>
村田委員	<p>事業効果なしとしてしまったら、我々もなかったと評価したら、この事業止めるのですか。逆に案件2件あったのだから、指標値は下回ったものの事業効果はあった又は見込めるではないかと思うのですが。</p>
小室政策主幹	<p>皆さまのご意見はどうでしょうか。この事業は我々の担当業務でありまして、案件を2つ出しながら採用に至らなかったことから、効果あったのかと言われたら少し厳しくて、効果が無かったと評価してしまいました。ただ、今ご意見ありましたように、案件は2つ構築した。しかし結果的に本人の意志で辞退ということで採用に至らなかったのは間違いないのですが、こういった課題を案件として構築しただけでもいいのではないかと。いうことであれば、評価を変えさせていただきたいなど。</p>
村田委員	<p>指標としては取組案件数というのがあって、これは達成しているのだからいいと思います。事業効果ないというのは、次年度につながらなくなってしまふ。</p>
横山会長	<p>村田委員が言われたように、私もそう思っていますので、変更していただきたいなどと思います。今の村田委員の意見でよろしいでしょうか。 (異議なし) では、そのように内部評価を訂正し、外部評価もそれに合わせていただきたいなどと思います。</p>
田村委員	<p>全国で地域おこし協力隊を進めているようですが、なかなか集まらないものですか。</p>
森久保計画担当主査	<p>北海道の地域おこし協力隊の採用をほぼ一手に担っている業者に聞きますと、27年度の後半くらいから集まりにくくなって来たといっていました。総務省が掲げた協力隊員の目標数を大幅に超すくらい的人员はいるのですが、全国的に取り組みだしたので、ここがいいと思って来るというよりは、就職感覚で来る方が多くなったそうです。</p>
横山会長	<p>29年度の見込みはどうなっていますか。</p>
小室政策主幹	<p>今2件の案件が出てきております。これからまとめて募集をかけたいと考えています。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	はい、では8番のお願いします。
小室政策主幹	<p>申し訳ありません。8番は削除し忘れてまして、次のページの9番にいきます。「ICT教育環境整備事業」について、町内の小中学校でICTを活用して、確かな学力を育成する教育を推進するものです。実績額は約1713万円となっております、指標は国の整備指針に基づくICT機器必要数を3校に導入するとなっております実績も3校となっております。評価といたしましては、指標値を達成し効果があったとしています。理由としましては、国の整備目標に準じてタブレットPC等々を導入して、授業に活用し児童への教育効果が高まったとしています。今後の方針として整備計画に基づきICT機器を充足し、児童生徒の学力向上を図るということで、事業の継続としています。以上です。</p>
横山会長	はい、何かご意見ございますか。
森久保計画担当主査	<p>29年度も予算計上されていますが、28年度29年度に各小中学校で導入していった、入れたことに対する価値はあったとしても、最終的に教育にはどうなのでしょう。</p>
森久保計画担当主査	整備計画に基づいて順次導入していくそうで、予算の関係もあって一気に入れられないので少しずつ入れていきますが、最終的には同じ設備が入ることになっています。
横山会長	学校間での差は出ないようにしているということですか。
森久保計画担当主査	そうですね。早い遅いはあると思いますが。
横山会長	それでは、評価につきましては、指標値を達成し事業効果はあったということでしょうか。
横山会長	(異議なし)
横山会長	はい、では10番お願いします。
小室政策主幹	はい、「少人数学級推進事業」ということで、きめ細かな学習指導環境を整えることを目的に、35人学級を実現すべく、期限付き教諭を任用するものであります。実績額は約1271万円で、指標は町の負担で任用する教諭が3名に対し、実績も3名となっております、評価は指標値を達成し事業効果があったとしています。理由としましては、全ての小学校全学年において35人学級が出来たことにより、一人一人の児童に細かな指導を行うことが出来たということでございます。今後の方針としては、未来を担う子どもたちの学力向上を図るため、教育環境の整備を推進していくということで、事業の継続しているところでございます。以上です。
横山会長	はい、これについて何かございますか。よろしいですか。では、評価としては指標値を達成し事業効果があったということにさせていただきたいと思っております。では11番お願いします。
小室政策主幹	はい、「学力向上支援事業」について、一人一人に応じたきめ細かな学習指導を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図ることを目的に、小学校教育支援員を配置し、習熟度別学習を実施するものでございます。実績額は約335万円で、指標値は教育支援員2人雇うところを2人の実績

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>値となっています。事業評価は、指標値を達成し事業効果があったとしています。理由としましては、教育支援員を配置することにより、習熟度別少人数指導等のきめ細かな学習指導を行って、基礎・基本の定着が図られたためとしています。今後の方針として、今後も未来を担う子どもたちの学力向上を図るため、教育環境の整備を推進していくということで、継続事業としているところです。以上です。</p>
横山会長	<p>はい、意見等ございますか。ないということで、指標値を達成し事業効果があったという外部有識者の評価にさせていただきたいと思います。では12番お願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「博物館との連携事業」です。博物館の学芸員と教諭との連携により、美幌町の自然体験や観察会、工作教室を実施し、地域への郷土心の養成と特色ある授業を実施するとしています。実績額は特になくなっていません。指標は連携事業実施校5校となっていて、実績も5校で、評価としましては、指標を達成し事業効果があったとしています。理由としましては、体験学習により、地域資源を活用した学校教育の充実が図られたとなっております。連携している学校は町内全ての小中学校となっております。今後の方針については、今後も地域資源を活用した博物館との連携事業を推進していくとしていまして、事業の継続としているところでございます。</p>
横山会長	<p>何かご意見ございますか。よろしいですか。では、これについても指標値を達成し事業効果があったということにさせていただきます。次13番お願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「学生ボランティア学習サポート事業」ということで、夏季・冬季の長期休暇中の小中学生に東京農業大学の学生が勉強を教えて、児童・生徒の学力向上を図るものとなっています。実績額は5万7千8百円。指標値は学習サポート事業の参加人数2千人に対し、実績値は2936人となっています。評価としましては、指標値を達成し事業効果があったとしています。その理由としまして、学生ボランティアによる長期休暇中の学習サポートを行うことにより、学力向上と学習習慣の定着が図られたということでございます。今後の方針としては、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図るため、学習サポート事業を継続していくとしています。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見ございますか。よろしいですか。では、これについても指標値を達成し事業効果があったと評価させていただきたいと思います。次、14番お願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「国際交流事業」ということで、平成4年からニュージーランドケンブリッジ地区と友好姉妹都市として関係が継続していますが、人材派遣として高校生短期交換留学を実施しています。さらに、各年でケンブリッジ高校から短期留学の受け入れも行うという事業です。実績額は約37万円で、指標は留学生、これは美幌高校の留学生ですが、2人と設定し、2人の実績があったということです。評価としましては、指標値を達成し事業効果があったというところでございます。理由としましては、美幌高校から2名の留学生を派遣し、美幌と友好姉妹都市である地域との人的交流が継続でき、また生徒自身においても将来を考える機会となり、事業効果</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>はあったとしています。今後の方針でございますが、国際社会に対応する寺院の育成は今後も必要であることから、事業の継続としています。1つ付け加えさせていただきますと、今年は美幌130年の年でありまして、ケンブリッジとの友好姉妹都市を提携してから20年の節目に当たります。今年はケンブリッジの訪問団が来るということになってございます。よろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>はい、校長先生の方から何かございますか。子どもたちにこういった変化が起きたなど。</p>
田村委員	<p>生きた英語を使って、短期の中で様々な経験をしてきて、彼らの中でとてもいい経験になっているので、とてもありがたいと思っています。昨年は2名だったのですが、今年は希望者が増えなくて1名でした。</p>
横山会長	<p>費用的に子どもたちには一切掛からないものなのでしょうか。</p>
田村委員	<p>いえ、8割補助の2割負担となっています。</p>
横山会長	<p>これが全額補助となったら手を挙げる人が、興味持つ子どもたちはいるのでしょうか。</p>
田村委員	<p>子どもたちの家庭の状況によって、そういうところもあるかもしれません。帰ってきた子どもたちは、本当にいい経験だったとあって、その後の道も、外語系の大学に進んだり、英検を受験したりしていますので、よい効果になっているのは間違いありません。</p>
横山会長	<p>はい、では評価については、指標値を達成し事業効果があったということにさせていただきます。では15番お願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「防災対策事業」ということで、災害予防を実施するに当たって、防災資機材を整備することと、町民の防災意識の向上を図ることを目的に、地域と連携した避難行動訓練や図上訓練の実施、家庭用備蓄の普及啓発など、防災体制の強化を図るとなっています。実績額は約1362万円で、指標は防災訓練参加者数100名としたところ、実績値は135名となっているということで、指標値を達成し事業効果があったとなっています。理由としましては、水害を想定した避難行動訓練を開催し、美芳地区の参加者92名、図上訓練でも28名の参加があったということと、防災訓練の参加者も15名あったということもあり、より一層の防災体制の強化が図られたということの評価となっています。今後の方針としては、今後も継続して訓練の実施や防災資機材の整備を進め、防災・減災対策の強化を図るということで、事業の継続としています。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見ございますか。よろしいですか。では、評価につきましては、指標値を達成し事業効果があったとさせていただきます。16番お願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、「自主防災活動推進事業」ということで、自主防災組織において災害時に備えた設備を整えるとともに、町民と関係機関が連携した自主防災訓練及び地域避難訓練を実施し、日頃の防災意識の向上と防災体制の強化</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>小室政策主幹</p> <p>横山会長</p>	<p>を図り、また未設立団体への積極的な働きかけを行い設立の促進を図るとしてあります。実績額は25万円となっており、指標は自主防災組織の結成成立73.75%に対して、実績は66.7%となっております。評価は指標値を下回ったものの事業効果があった又は見込めるとしてあります。評価の理由でございますが、自治会連合会による訓練などを通して、未設立自治会への働きかけなど積極的に行ったものの、設立にまでは至らなかったということです。ただ、新たに自主防災資機材等収納倉庫の設置を行い、地域の防災体制の強化を図ることができたということから、このような評価となっております。今後の方針としては、今後も継続した働きかけを行い、防災・減災対策の強化を図るとして、事業の継続としてあります。以上です。</p> <p>何かご意見ございますか。よろしいですか。では、評価としましては、指標値を下回ったものの事業効果があったということで、今後も未設立のどこに向けて働きかけるということで見込みがあることでございます。</p> <p>はい、前回と今回の会議において外部評価をいただいたところでございます。言い忘れたことや付け加えたいことなど、総体的に何かありましたらお願いします。</p> <p>よろしいですか。はい、ありがとうございます。では、レジュメの2番目、基本戦略ごとの数値目標・K P Iについて、事務局からお願いします。</p>
<p>小室政策主幹</p> <p>横山会長</p>	<p>はい、一番最後のA3の資料については、A4版の美幌版総合戦略の効果検証方法等についてという資料の3に概要を記載してございます。数値目標や各施策のK P Iにつきましては、先ほどの各個別事業と異なり、1つの事業に対し1つの指標値というものではありません。その先にあるもっと大きな目標を設定しています。そのため、総合戦略の進捗状況を図るものとして使用する予定です。進捗率を見て、進捗があまりよろしくない施策があれば、改めて個別事業を考察していくといった活用をしていく予定としていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>なかなかまだ進捗率が捗っていないところもありますので、よろしくをお願いします。</p> <p>はい、ありがとうございます。何かございますか。では、次のその他をお願いします。</p>
<p>小室政策主幹</p>	<p>はい、今後についてです。前回及び本日、皆さまに評価していただいた結果については、意見があったものについてはそれを附して各担当部署に戻していきたいと思っております。それを元に、各担当で対応できるところは対応してもらおうことを考えています。その後で、役場の主幹職で組織しているプロジェクトチームを開催し、さらに町長を本部長とする本部会議にかけていきたいと思っております。最終的には議会に報告することになっていきますので、ご理解いただきたいと思っております。</p> <p>次回の会議については、未定としながらも、10月下旬頃に開催したいと考えています。議会への報告がありますので、議会からも何かしら意見が出ると思っておりますので、そこでまた改善点が出てくるかと思っております。基本目標やK P Iの進捗状況と照らし合わせながら、次年度以降に向けた改善や新規事業について考えていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。10月下旬というのは、次年度の予算要求が始まる少し前ということもあって、次年度向けてより良い方策を考えている時期でありますので、皆さまの考えや要望を伝えていくには良い時期かなと思っております。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p data-bbox="199 376 319 409">横山会長</p> <p data-bbox="199 593 347 627">水島副会長</p>	<p data-bbox="475 271 1402 338">す。会議日程については、事前に調整を行いますので、よろしく申し上げます。以上です。</p> <p data-bbox="475 376 1402 555">はい、今後についてということで、各原課に伝えて様々な会議にかけていった後、最終的には議会ということで、そしてそれらを元に10月下旬にまた皆さまにお集まりいただいて、話し合っていきたいなと思います。よろしいでしょうか。他に何か、皆さまの方からも何かありますか。では、時間も長くなりまして、締めは水島副会長にお願いします。</p> <p data-bbox="475 593 1402 696">前回と今回の会議も2時間以上の会議でしたが、皆さまの貴重な意見が、これからのまちづくりに活かされることを願っております。お疲れ様でした。</p> <p data-bbox="1377 741 1402 775">了</p>